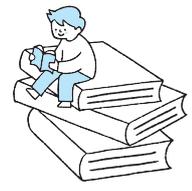


おすすめの本

「テミスの不確かな法廷」
直島翔著 / KADOKAWA

裁判官・安堂清春は、幼い頃発達障害と診断され、自身の特性と向き合ってきた。さまざまな事件と人との出会いを通じ、安堂は裁判官として、ひとりの人間として成長していく…。『小説現代』掲載に書き下ろしを加え書籍化。



「22歳の扉」
青羽悠著 / 集英社

京都の大学に入学した田辺朔。漫然と授業を受け、バイトをしていくうちに1回生前期は終わってしまった。後期に入り、旧文学部棟の地下でひっそりと営業されているバーのマスター・夷川と出会い、朔の大学生活は一変した…。

「神祇庁の陰陽師・凧の事件帖」
桜川ヒロ著 / KADOKAWA

3カ月前から「人を殺す夢」を見るようになってしまった青年、嵐士。近所の公園で女性を殺す夢を見た嵐士が慌ててその公園に行くと、女性が死んでいた。事情聴取が始まると、「魔」を回収するという陰陽師・凧が現れ…。

「日本初の女性裁判所長三淵嘉子」
平凡社

2024年NHK春の連続テレビ小説『虎に翼』のヒロインのモデルである、日本初の女性裁判官・三淵嘉子。家庭裁判所判事として、社会の矛盾や不平等と闘った、その果敢な生涯をたどる。

「10年後のハローワーク」
川村秀憲著 / アスコム

仕事の8割がAIにかわる時代にとるべき選択とは。これからの10年で起こることや、10年後に「なくなる仕事」「伸びる仕事」について考察。10年後も必要とされる人になるための8つの思考の深め方も伝える。

「テクノ・リパリアン」
橘玲著 / 文藝春秋

とてつもない富を手にしたとてつもない賢いIT成功者たちは、既存の民主主義を超越する新たな政治思想を模索している。彼らはいかに世界を変えるのか。最先端思想の全貌を徹底解説する。『文藝春秋』掲載を加筆し新書化。

「ワレワレはアマガエル」
松橋利光文 / アリス館

アマガエルのくらしを知っている？ギョッギョッという大きな声のひみつや、産卵からおたまじゃくしになり、冬眠するまでを、アマガエルが楽しく自己紹介する写真絵本。写真について詳しく解説した「かえるメモ」も掲載。

「スタート」
楠章子作 / あかね書房

毒親、貧困、トランスジェンダー、いじめ…。それぞれの問題で居場所を失いかけていく5人の子どもの前に、猫をつれたあやしい男が手をさしのべ…。今すぐそこにある、子どもたちの物語。

「ないたにわとり」
ススキトモコ作 / ひかりのくに

歌が自慢でうぬぼれ屋のにわとりは、人気者の美しいバラと毎日ケンカばかり。ある日、バラは切られていなくなります。静まりかえった庭で、にわとりは「やっとうるさいやつがいなくなった」とつぶやいて、歌おうとしますが…。

「かものおむすめ」
オリガヤフトーヴィチ再話絵 / 福音館書店

おじいさんとおばあさんは、森で足に怪我をしたかもを見つけ、家に連れて帰りました。留守にするたびに家の中がきれいになり、おいしいものができているので、誰がやっているのかこっそり見張っていると…。ウクライナの昔話。

★ 行事・お知らせ

● 赤ちゃんのおはなし会
ボランティアによるおはなし会を親子で楽しみませんか。
日時 6月4日(火) 10時30分
場所 図書館1階
おはなしコーナー

● 大人向けのおはなし会
大人の読み聞かせサークルによる大人向けの読み聞かせです。
日時 6月13日(木) 10時
場所 図書館1階
おはなしコーナー

● てじな絵本をつくらう！
日時 6月15日(土) 14時30分
場所 図書館1階
指導 児童館職員
参加費 無料

● 開館時間の延長
図書館の開館時間を延長します。
期間 6月21日(金)～
8月22日(木)
時間 9時～19時